

湧き水と地下水 観察しよう

崖を下から見てみましょう。崖下の池や川のほとりに湧き水が流れていることがあります。

降った雨の一部は地中に浸み込んで地下水になりますが、地下水の一部がまた地表に出てきたのが湧き水です。

地下水は、地下10mくらいまでの部分にある浅層地下水と、もっと深いところにある深層地下水にわかれています。湧き水となって出てくるのは浅い方の地下水です。

湧き水はふれると、夏は冷たく、冬は温かく感じられます。これは、温度が年間を通してほとんど一定である土の間を、地下水がゆっくり移動する間に、水温が地中の温度に近くなるためです。

また、地中を通る間に、こされてきれいになるので、古くから地域のひとびとの生活に利用されたり、生き物がくらす水辺となったりしているところもあります。そして、集まって川へ流れ込むことで河川の貴重な水源ともなるのです。

湧き水を守っていくためには、道路の舗装材を工夫するなど雨が地下へ浸透しやすくするとともに、井戸で地下水をくみ上げすぎたり、工事や地下の建造物によって地下水の流れ(水みち)を断ち切ったりしないように注意しなければいけません。



武蔵野の雑木林

「昔の武蔵野は豊原のはてなき光景を以て絶類の美を鳴らして居たやうに言ひ伝へてあるが、今の武蔵野は林である。林は実に今の武蔵野の特色といっても宜い」 国木田独歩は、明治31年に著した「武蔵野」の中で、当時の武蔵野の姿をこのように描いて称賛しています。

武蔵野に広がっていた雑木林は、薪や炭を得るために、15~20年の間隔で伐採され、その切り株から出た芽から育てられてきた林です。こうした利用がくり返し行われてきたため、切り株から芽を吹く力の強いコナラやクヌギなどの樹木だけが、株立ちの樹形となって残っているのです。また、毎年のように下草刈りと落ち葉掃きを行って、集めた落ち葉や下草を田畑の肥料として使うため、よく手入れされた雑木林の林の中は、比較的明るくなっています。

雑木林は、自然を破壊することなく、その力と性質とをコントロールして、継続した利用を図ってきた見事な知恵が生み出した風景ともいえます。燃料革命などによって、雑木林が農用林や薪炭林として果たしてきた役目が失われてきたとしても、私たちの祖先が工夫と愛情をもって育て、人々の生活とともに維持されてきた林であることを考え、大切にしたいものです。



ここに注目!国分寺コース

1 伝鎌倉街道

鎌倉時代に幕府所在地である鎌倉と各地を結ぶ主要道路のうちの一つで、上州より武蔵府中を通り鎌倉へ向う道が、現在の府中街道にほぼそったかたちで南北に走っていたと伝えられています。武蔵国分尼寺跡北側に残る切り通しがその跡と考えられています。



2 国分寺市文化財資料室

市内の遺跡からの出土品や発掘資料などが展示されています。開館時間は午前9時から午後5時まで、休館日は月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、年末年始です。

3 武蔵国分寺跡資料館

国指定史跡武蔵国分寺跡を紹介する展示をしています。開館時間は午前9時から午後5時まで、休館日は月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、年末年始です。



4 お鷹の道と真姿の池

江戸時代の初め頃より国分寺市内の村々は尾張徳川家の御鷹場に指定されていました。崖線下の湧水を集めて野川にそそぐ清流に沿ったこみちを地元ではいつの間にか「お鷹の道」と呼んでおり、現在は遊歩道として整備され、人々に親しまれています。

また真姿の池は、嘉祥元年(848)稀代の美人とうわさされた玉造小町が、ハンセン病で病んでいたときに、この池の水で体を洗ったところその病が治ったといわれています。以来真姿の池と呼ばれ、弁財天がまつられています。

ここは全国名水百選のひとつに選ばれています。

5 国分寺の斜面林

国分寺崖線と呼ばれる多摩川の河岸段丘崖もかなり宅地化が進んでいますが、現在の国分寺の裏山付近は雑木林が良く残っています。

6 武蔵国分寺公園

この公園は旧国鉄の「中央鉄道学園」跡地に作られた公園で、周辺に残る国分寺崖線や雑木林に隣接し、ジョウビタキ、カワセミ等の野鳥も多く周辺の史跡とあわせて散策を楽しむことができます。

7 国分寺姿見の池緑地保全地域

JR西国分寺駅から近くJR中央線北側線路沿いになだらかな段丘上の樹林とこれに隣接する畑や湿生地約1haで「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき平成5年11月、国分寺姿見の池緑地保全地域として指定されました。



「雑木林のみち」は10コース



次の10コースを「雑木林のみち」として選定しました。

コース名	愛称	延長	風景と特徴	位置
1 清瀬中里コース	広野と街道のみち	10.6km	畑の広がりや屋敷林	清瀬市
2 松山・青葉町コース	森のこみち	5.9km	大平地林なごりの林	清瀬市・東村山市
3 黒目川・柳窪コース	屋敷林のみち	6.0km	黒目川源流の屋敷林	東久留米市
4 小山・金山コース	丘のこみち	5.0km	黒目川崖線の雑木林	東久留米市
5 南沢・南町コース	里のみち	5.9km	湧水と新田集落風景	東久留米市
6 玉川・野火止コース	用水の散歩みち	6.2km	用水沿いの雑木林	小平市・東大和市
7 国分寺コース	みずかみのみち	4.7km	崖線の樹林と湧水	国分寺市
8 矢川・青柳コース	せせらぎのみち	5.9km	崖線の樹林と湧水	国立市・立川市
9 野川・深大寺コース	ハゲの散歩みち	5.2km	野川緑道と崖線樹林	三鷹市・調布市
10 調布若葉町コース	こもれびのみち	4.6km	入間川の段丘崖樹林	調布市・世田谷区

「雑木林のみち」へようこそ

■「雑木林のみち」とは

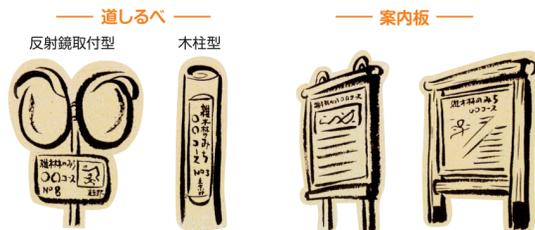
東京都は多摩東部地域に残る雑木林を保全し、この雑木林を中心とした武蔵野らしい風景をつづる道を「雑木林のみち」として選定しました。コース周辺に残る平地や崖線の雑木林を、都民の貴重な財産として維持し、親しんでいただくことを目的としています。

■「雑木林のみち」の特徴

- 「雑木林のみち」のコースは次のような点に留意して選定しました。
1. コースの周りに雑木林や畑が比較的良く残っていたり、水辺に沿って歩けるなど、散策や自然観察に向いている。
 2. 保全地域や保存樹林などに指定され、武蔵野の風景が守られている。
 3. それぞれのコースは、半日あればゆっくり散策できる。
 4. 電車やバスなどの交通の便がよい。

■「雑木林のみち」の歩き方

「雑木林のみち」は、この地図のコースに沿って歩いてください。地図に標示されたコース沿いには、とところどころに下記のような案内板や道しるべが設置されています。なお、保全地域や公園などコース外であっても散策してみると、新たな発見があるかも知れません。



雑木林のみち

国分寺コース 国分寺市 延長4.7キロメートル
交通・新宿からJR中央線で30分西国分寺駅下車



雑木林のみち・国分寺コース

登録番号令和5年度第57号
環境資料第35069号
編集年月 令和6年3月
発行年月 令和6年3月
編集発行 東京都環境局
新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL03(5388)3555
印刷 株式会社国際地学協会
イラスト 川上洋一、(有)セフィルス御手洗 望



7 国分寺

7 国分寺コース みずかみのみち

雑木林のみち

